

# 児童発達支援夢門塾相生 自己評価表

記入日: 2021年1月7日
事業所名: 児童発達支援夢門塾相生

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	2	2		フィードバック時、保護者が全員入室すると狭く感じる事がある為、フィードバックの時間を少しずつずらす等を視野に入れていく
	②	職員の配置は適切である	2	2		個別対応が必要な場合、人員不足を感じる時は、放課後等ディサービスの職員に助けを求めている
	③	衛生面の管理が行き届いている	4			清掃・消毒等をしっかりと行っている
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	4			個々の目標を確認することを心掛けている、また業務日誌を活用し情報共有を行っている
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	4			保護者の意見やアンケートの結果を把握し、職員会議等を行い改善につなげている
	⑥	自己評価の結果を公開している	4			毎年、ホームページで公開をしている
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	3	1		毎月、職員会議やカンファレンスを行い、また研修の機会も確保されている
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	4			毎回のフィードバックや、モニタリングの機会を利用し参観をお願いする等、保護者様のニーズを聞きながら、個別支援計画を立てるように進めている
	⑨	活動の計画をチームで行っている	4			季節にあわせたイベント等、話し合いを行い計画を立て行っている
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	4			活動の記録を取り、週ごとに計画を立てている
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	3	1		長期休暇等、放課後等ディサービスとの交流も臨機応変に取り入れている
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	4			日々の活動の中で、個別課題、集団活動を組み合わせている
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			課題の内容、分担など支援前に確認を行っている
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			提供記録にその日の活動について、苦手な部分、頑張っている部分等、次に活かせるよう、具体的に記入している
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	4			6か月ごとの期間は区切っているが、必要に応じ2か月、3か月でモニタリングを行い見直しをすることもある
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	4			ガイドラインを確認し、理解し組み合わせながら支援を行っている

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4			園への訪問を行い、学期ごとに情報共有を行っている
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	—	—	—	
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	4			児童発達を卒業し、放課後等デイサービスに移行する際には、情報の提供、引継ぎ等を行っている
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3		今年度はコロナ感染症の影響もありおこなえなかったが、見学研修等、設けていきたい
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	4			フィードバック時にその日の様子や、頑張っている事、困っている事、課題等を伝え共通理解ができるようにしている
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	4			契約時にわかりやすく説明することを心掛けている
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	4			必要に応じ、相談の時間を設けている
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している		1	3	コロナ対策のため、今年度は保護者会等、開催ができなかった
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			苦情窓口は必ず伝えている、要望については意見をしっかりと聞き、支援に取り入れるよう心掛けている
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	4			月に1~2回、広報誌を発行している
	㉗	個人情報保護に十分注意している	4			個人情報の取り扱いには十分注意を払っている
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			視覚支援を取り入れたり、個々に合わせた声掛け等を行っている
非常時などの対応	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている			4	今年度はコロナ感染症の影響もありおこなえなかったが、短時間で参加できる地域行事等、情報収集を心掛けていく
	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	4			すぐに見えるようマニュアルを用意し、周知している
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	4			全員が体験できるよう、避難訓練週間を設け取り組んだ
	㉒	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			全職員、虐待防止の研修を受けている
	㉓	いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	4			現地点で身体拘束が必要な利用者様はいないが、必要に応じて行う
	㉔	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	4			現地点で投薬が必要な利用者様はいないが、必要に応じて行う
㉕	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	4			少しのことでヒヤリハットにあげ、職員で共有できるようにしている	